

# 森林環境教育プログラム



# 国立曾爾青少年自然の家

## ○概要・目的

- ・ESD（持続可能な開発のための教育）の観点から我々の暮らしを支える森林の恵みを学ぶ。
  - ・「健康で元気な森林にするには」というテーマで森林について考える。
  - ・森林観察や土壤調査、間伐材の再利用を実体験することにより、森林環境の重要性を学ぶ。

## ○対象

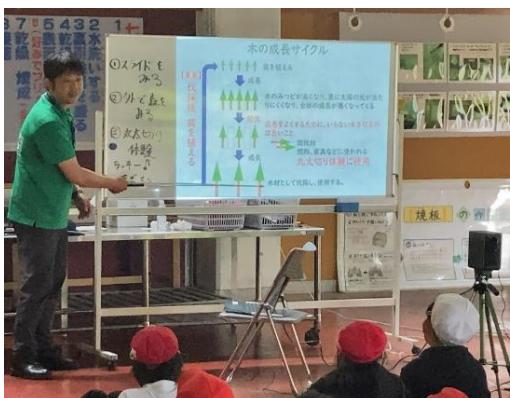
- ・小学校5年生をおもに対象とし、活動プログラム（2.5～3時間）で実施。
  - ・参加費 参加者一人100円。（指導者は除く） ※上限80名程度



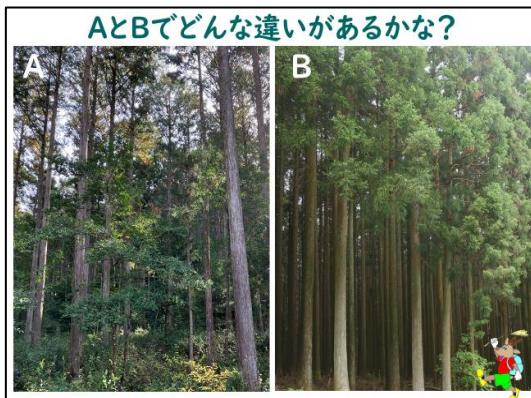
## ○活動內容

活動項目	所要時間	活動内容
導入 (研修室)	約 5 分	<input type="checkbox"/> 職員の自己紹介 <input type="checkbox"/> 森林環境教育プログラムの概要説明
ワーク (研修室)	約 40 分	<input type="checkbox"/> 森林のおはなし（スライドを用いて座学）
活動 (屋外フィールド、 小雨決行) ※荒天時は内容短縮	約 90 分 (約 120 分)	<input type="checkbox"/> 森林散策 <input type="checkbox"/> 広い視点で見た森林観察（広葉樹、針葉樹） <input type="checkbox"/> 検土杖を用いた土壌調査（土壌の色、硬さを調査） <input type="checkbox"/> 間伐材を利用した丸太切り体験（ヒノキの間伐材を使用） （雨天時は施設内で行います。）
まとめ 活動のふりかえり (研修室)	約 15 分	<input type="checkbox"/> 全体ふりかえり <input type="checkbox"/> ふりかえりシート記入（参加者の声を集める）

## ○森林のおはなし



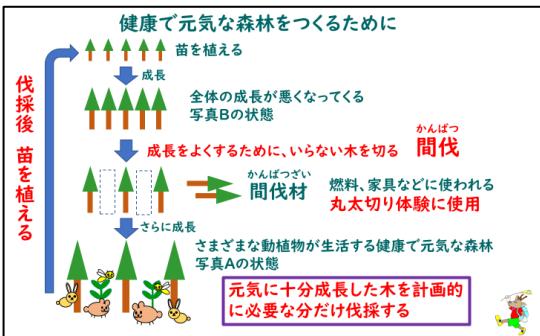
スライド 1



スライド1において、A、Bの森林の写真を見せ、何が違うのかを考えさせるワークを行う。

A は間伐や手入れがされた森林であり、光も十分に届き明るい。スギやヒノキだけではなく地表や地表付近に自生する植物も生き生きとしている。

## スライド2



スライド2では、模式的に木の成長と間伐との関係性を示し、間伐することで木の成長が促進され、森林全体に光が届き、**自生する植物も育ち、昆虫や動物も生きやすく、健康で元気な森林になっていくことを**説明する。次に、**元気に十分成長した木を計画的に必要な分だけ伐採し、新しい苗を植えることを**説明する。その他としては、世界の森林減少ペースの悲惨さ、手入れや管理が行き届いていない日本の人工林の状況をクイズも入れながらスライドで説明し、**小学5年生の社会科の林業にもふれ、予習や既習学習もできるものとしている。**

## ○広い視点による森林観察



広葉樹、針葉樹の色の違いや分布を観察、曾爾村の森林の歴史にもふれながら説明。

座学で説明した間伐の重要性に着目し、**森林の樹木の密度と光がどれだけ届いているか**を観察。

## ○検土杖を用いた土壤調査



検土杖を用いて、樹木のないところの土壤と森林の土壤で土の違いを見る。

森林の土壤では、検土杖が土壤に刺さりやすく、やわらかく色が黒い肥沃な土壤であることを体験できる。



## ○丸太切り体験



間伐材のヒノキを使って丸太切り体験を行い、切り口から香るヒノキの香りや研磨することでくっきり見える年輪の数から樹木が成長するまでの時間を知ることができます。また、切り落とした部分はコースターにすることができ、**間伐材の利用により、資源を有効に活用することを実感できるプログラム**である。

## ○参加者の声（印象に残ったこと、感想）

木は、はえている間に、つめつめすぎるし、ダメだといふことを、始めて知りました。  
検土杖を始めとして、そんな物があることに、びっくりしました。

スギの葉はギザギザしているし、ヒノキの葉はつぶつぶしていることが印象に残りました。これを覚えてスギとヒノキを見分けられるようになりたいです！

いかないと森林が多いと思ったら、約1回り大きしたことか印象にのこり、おうちの人へクイズをだそうかなと思った、検土杖のことも分った。

木検土杖で木の年輪を見たとき、今まで鳥取で見かけた色や、やわらかさがわかったとは…！と思いました。たたは、今日の学習によ、みたいたが、これがいいなうしてたが、話を聞いていろいろとおじょうがなんだと安心しました。

前よりも、もと森林のことが知れました。木を切る体験では、たいへんだたけれどとてもたのしい感がありました。それに、行なことは私の中で最高の思い出になりました！

とにかく楽しかったです。ヒノキにはいいがいいにおいででした。また、こういう木のことなどって笑ひませんきょうをしたいです。日本ごも一つの木たなびきで3000年生きる木があるのを矢張ておどろきました。



とくに、丸太切りが楽しかったです。切っていろときは、つかれてきつかったです。切り終わると、たのせいがんがなづかたです。また、やってみたいですね。



実績：令和6年度実績 小学校 27 校 1495 名 ボーイスカウト 3 団体 85 名  
満足度調査：満足 84.6% やや満足 14.8% やや不満 0.6% 不満 0%  
協力：速水林業 大田賀山林 速水林業代表 FSC ジャパン副代表 速水 亨 氏